



### 地域がん診療連携拠点病院 第8回市民公開講座

## 「がんとともに生きる」—患者会とがんサロン—

医学資料室事務員 佐々木 舞

9月4日(土)、第8回市民公開講座「がんとともに生きる—患者会とがんサロン—」を岡山済生会ライフケアセンター やすらぎホールにて開催いたしました。市民公開講座は地域がん診療連携拠点病院として、市民の方を対象にがんの予防や早期発見等をテーマに毎年開催しています。今年は連日の猛暑にもかかわらず113名の方々に参加していただきました。

まず、岡山大学大学院医歯薬学総合研究科緩和医療学講座教授の松岡先生に「あなたがいるから元気になれる」というテーマで講演をしていただきました。「緩和医療、がん生存学」「がんの話」「生きるということ、生きがい」「がんを超えて生きる」といった内容の講演でした。不安や恐怖のため痛みを認められず、痛みを上手く伝えられないといった苦痛を感じているがん患者さんは多くいらっしゃいます。がん患者さんにとって、生きるということ、生きがいとは何なのだろうか。それは他人との関

係が良好で自分の存在を認められたときだと教えていただきました。周りに関心を持ってあげることで、生きる力を与え、痛みや苦しみが和らぐそうです。痛みを緩和させるため、がんを乗り越えるために大切なことは周りとの信頼関係にあり、関心を持ち支えてあげることなのです。つまりそれが、「あなたがいるから元気になれる」ということでした。

次に、「りんごの会」「もみじ会」「あしたの会」の3つの患者会とがんサロン「サロンさいせい」の紹介をしました。「りんごの会」



**岡山済生会総合病院 患者会・がんサロン紹介**

**りんごの会**  
 対象者：当院で乳癌の手術を受けた患者と家族の乳がん患者  
 開催時期：平成1年、市民公開講座から開始  
 会の内容：癌の自療や遠征旅行・トレーニング(第1回) 癌の克服会(第2回) 平成11年「癌闘争」全開会(毎月1回) 毎月第1金曜日 午前中(12~13時)

**もみじ会**  
 対象者：当院で人工肛門を造設した患者、造設ストーマのケアに悩んでいる患者  
 開催時期：平成4年、遠征旅行の開催から開始  
 ストーマケア(1回)と食事療法  
 会の内容：家族会(毎月1回)と「癌闘争」全開会(毎月1回) 毎月第1金曜日(12時~1時)

**あしたの会**  
 対象者：当院の婦人科のがん患者  
 開催時期：平成21年3月から毎月1回開催  
 会の内容：写真展

**サロンさいせい**  
 対象者：当院で治療のあるがん患者とその家族  
 開催時期：平成21年3月から毎月1回開催  
 会の内容：シニアブザー  
 患者会と家族会の交流会  
 開催日：毎月第1金曜日 午前11時(第1回) 第2回 第3回開催

は当院で乳房の手術を受けた方と乳がん患者さん、「もみじ会」は人工肛門を造設した方とストーマ外来に通院している患者さん、「あしたの会」は婦人科のがん患者さん、「サロンさいせい」は当院受診歴のあるがん患者さんとその家族を対象に活動しており、当院の世話係が会の概要や活動紹介を行いました。続いて各患者会の方から会に参加しての感想等を発表していただきました。みなさん大変緊張されたと思いますが、患者会に参加することで同じ立場で語り合い、お互いに勇気を与え前向き

に治療をしていくことができる、患者同士で支え合い乗り越えられ、笑顔でお話をされていました。演者に患者さんを迎えての講演は初めての取り組みで、参加者アンケートにも「患者会の方のお話をもっと聞きたかった」「患者会の必要性和重要性がよくわかった」という感想が多数あり、素晴らしい会になったと思います。がんを超えた人生のお話でもあったように感じました。患者会とがんサロンの方々をはじめ、ご参加くださった皆様ありがとうございました。



「月秋」

# art gallery

・アートギャラリー・

葉っぱの色が変わるのはいつだろう。夏の暑さが和らぐとそんなことを思います。私にとっての秋の始まり。こどもの頃、道端の赤や黄色の葉っぱを見つけては「1番キレイな葉っぱ探し」に夢中でした。机に並べて形にしたり服につけてブローチにしたりして楽しんで。今年は枠にいっぱいペタペタ葉っぱをくっつけて『額』つくっちゃおっかな。書きながら今思い付いたんですけど… うん。愛でた後、今年はそれで。うん、うん。楽しそう。

【絵と文】樋口 咲子さん  
MoLAホームページ  
<http://www.art-mola.com/>